Kakuichi InstituteHolistic Study Series
BEYOND HUMANSCALE

ヒューマンスケールを超えて

わたし・聖地・地球（ガイア）

宗教学者とランドスケープデザイナーの対話

鎌田東二
×
ハナムラチカヒロ

「もう何をやっても地球は長くはもたないのではないか――」。
二〇二〇年を迎えたいま、
そんな想いが誰の頭の中にも浮かび始めている。
だがいまの文明にはもはやオルタナティブが用意されていない。
一方で「持続可能な開発」という題目だけは勇ましく唱えられ、
世間は大騒ぎしている。

しかしその〝持続可能〟が何を意味するのかは依然として曖昧だ。
地球環境は人間にとっていよいよ不都合な状況となりつつある。
そんな危機的な状況にもかかわらず一向にまとまらない
人類の問題の真の原因とは何なのだろうか。

――本書「あとがき」より

**人（ヒューマン）に
やさしい
尺度（スケール）から
地球に
やさしい
尺度へ。**

生命と地球と宇宙との動的（ダイナミック）な平衡（バランス）を取り戻すために。

ぷねうま舎
定価　本体2300円＋税

はじめに　スケール転換を求めて　鎌田東二

第1章　わたしという現象
——人生とは演技の連続である
役者は自分を拡大するのか消すのか
自分をなくしていく禅・拡大する密教
人間はリアクションにすぎない　せいのう
意味不明の細男に衝撃
外側からつくられるわたし

第2章　異化するデザイン
——見方を変えると風景が変わる
少年時代のランドスケープ
生命を扱うデザイン
デザインとはサインの否定か
欲望をかき立てるデザイン
異化が見方を転換する
宗教学者が設計コンペに参加
見いだされる都市
設計者のいない建築

第3章　メタノイア
——自分のあり方を転換する
近代の合理性を問うたアングラ劇
人間は主体的にしゃべるわけではない
傍観者ではいられない状況をつくる
命がけで突っ立った死体
感覚を開放して自分を改める
富士山と虹がわたしの主治医
異化・同化・変身

第4章　意識の進化
——スケールが変わると正解が変わる
『新世紀エヴァンゲリオン』にみるシンクロ能力
破壊と創造のダイナミックバランス
動物信仰とシンクロニシティ
〝わたし〟を発見したホモ・サピエンス
ネイチャーの次元で考える
振動がもたらす快感
サヤがはじけて実が飛び散るのはなぜか
一オクターブ上のわたし
聖人はみんなトリックスターだった

第5章　聖地の創造
——生命力を活性化させる場所
洞窟と滝
聖地・生地・性地・政地
祈りの方法をアップデートする
物質とエネルギーと意識の転換点
危険が透明化した都市
地球全体をデザインする
調和と平和と美、「ホジョナー」
美意識を持って生きる

第6章　生命のリズム
——両極を行き来して進む
安全な聖地・危険な聖地
聖地にもジェンダーがある
宗教・教育・人権
縁を組み直す
パブリックな生命ネットワーク

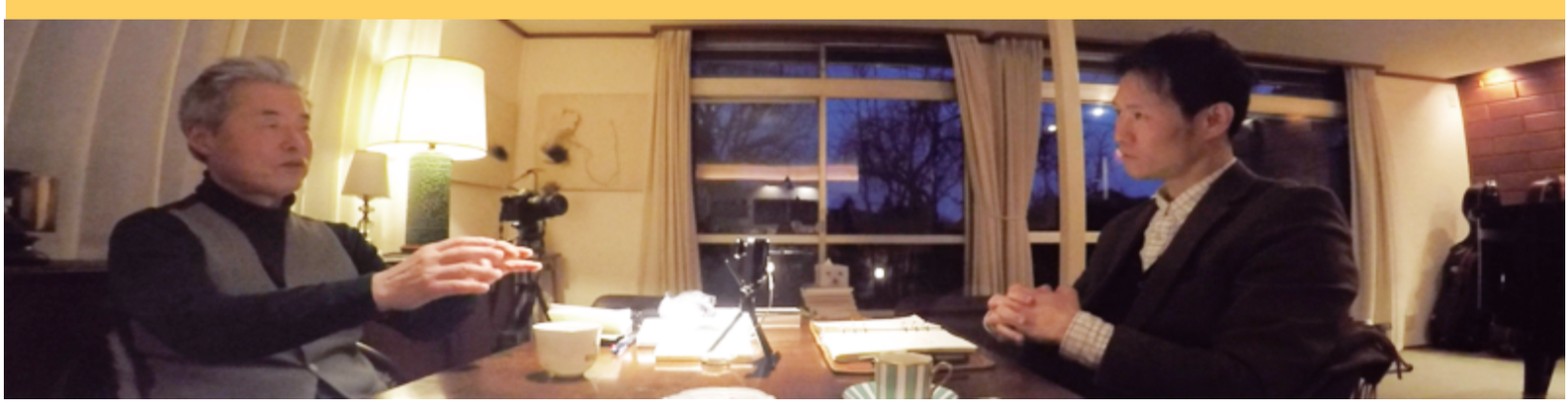
第7章　宇宙の縮図
——聖地から宇宙を見上げる
奥の世界から表の世界へ
クレーターとメテオラ
場を敏感に聴き取る
恵みと災いの両方を受け止める
ノスタルジアでは状況に対応できない

第8章　母なる地球
——太陽の原理から月の原理へ
『2001年宇宙の旅』と『地球の告白』
地球は美しくなっている
ホリスティックな思考を取り戻す
月のリズムで考える
縄文文化はまたやってくるのか
女性原理の時代ふたたび

おわりに　Eの問題　ハナムラチカヒロ

鎌田東二　かまた・とうじ

1951 年徳島県生まれ。國學院大學大学院文学研究科神道学専攻博士課程単位取得満期退学。博士（文学）。京都大学こころの未来研究センター教授等を経て上智大学グリーフケア研究所特任教授、京都大学名誉教授、放送大学客員教授、京都伝統文化の森推進協議会会長。宗教哲学、比較文明学、民俗学、日本思想史、人体科学など多様な学問を幅広く研究。フリーランス神主。著書に『超訳古事記』（ミシマ社）『歌と宗教』（ポプラ社）『聖地感覚』（角川ソフィア文庫）『世直しの思想』（春秋社）『究極日本の聖地』（KADOKAWA）『世阿弥——身心変容技法の思想』（青土社）『言霊の思想』（同）ほか多数。

ハナムラチカヒロ

1976 年生まれ。博士（緑地環境計画）。大阪府立大学経済学研究科准教授。ランドスケープデザインをベースに、風景へのまなざしを変える「トランスケープ / TranScape」という独自の理論や領域横断的な研究に基づいた表現活動を行う。大規模病院の入院患者に向けた霧とシャボン玉のインスタレーション、バングラデシュの貧困コミュニティのための彫刻堤防などの制作、モエレ沼公園での花火のプロデュースなど領域横断的な表現を行うだけでなく、俳優として映画や舞台に立つ。「霧はれて光きたる春」で第 1 回日本空間デザイン大賞・日本経済新聞社賞受賞。著書『まなざしのデザイン：〈世界の見方〉を変える方法』（2017 年、NTT 出版）で平成 30 年度日本造園学会賞受賞。